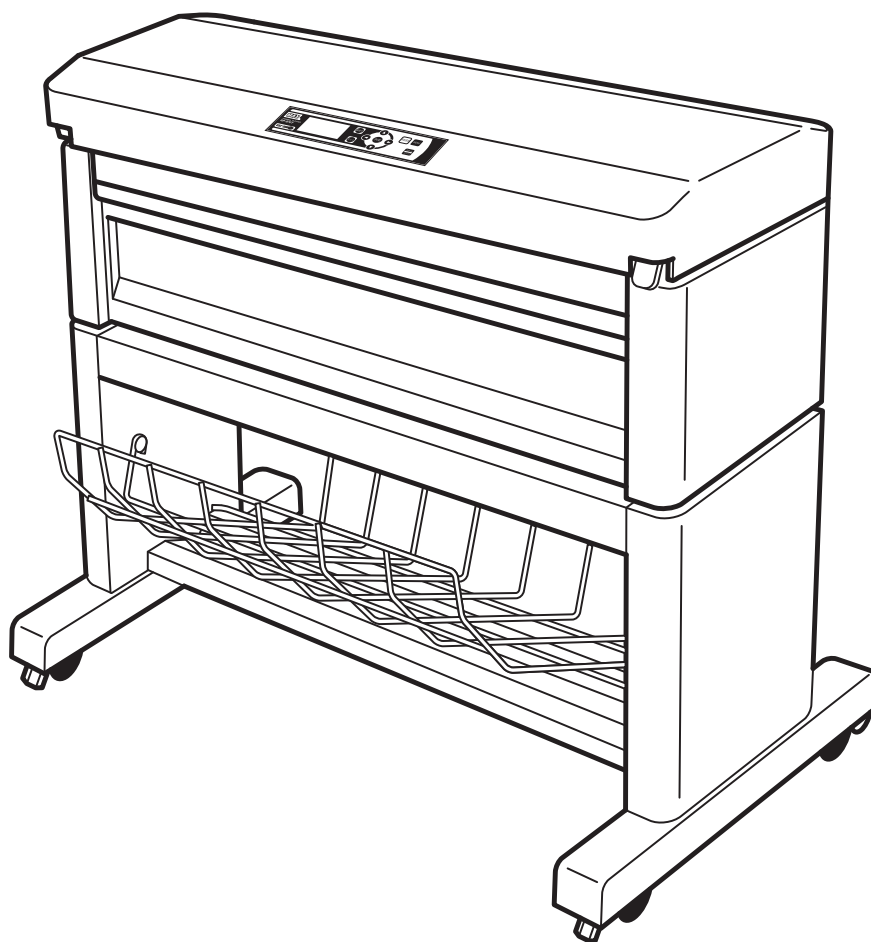


CALLIGRAPHIC THERMAL PRINTER
RP-970T

取扱説明書



- ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
- この取扱説明書は必ず保管してください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁じられています。
- 本書の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

はじめに

この度は、サーマルプリンタ RP-970T を、お買い求めいただきありがとうございます。

- ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
- この取扱説明書と保証書は必ず保管してください。

ご使用上の注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して設置使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

■表示について

この取扱説明書および製品は、製品を安全に正しくお使いいただくためにいろいろな表示を使用しています。その表示と意味は次のようになっています。



警告： 取扱を誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定され、絶対に行ってはいけないことが書いてあります。



注意： 取扱を誤った場合、使用者が障害を負う危険性が想定され、絶対に行ってはいけないことや、物的損害の発生が想定され、絶対に行ってはいけないことが書いてあります。



： 機械が故障し修理が必要になる事が想定される操作や、現状復帰するために電源スイッチを一旦切り、再度入れ直すなどの操作が必要になるので絶対に行ってはいけないことが書いてあります



： 操作上のポイントおよび知っていると便利なことが書いてあります。



： 説明のページが異なる場合に参照するところが書いてあります。



： 機能上の注意点について説明してあります。

■絵表示について



： 記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。










： 記号は「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は、具体的な禁止内容です。



： 記号は「しなければいけないこと」を意味しています。この記号の中の表示は具体的な指示内容です。

⚠ 警 告

	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機の内部に指、ペン、針金、などの異物を差し込まないでください。本機が故障したり、火災、感電の原因になります。 ● 電源は直接コンセントからとりタコ足配線はしないでください。火災の原因になります。 ● 電源コードを加工しないで下さい。火災感電のおそれがあります。 ● 電源コードの上に重いものを絶対にのせないでください。コードに傷が付いて火災や感電の原因になります。 ● アース線は絶対にガス管につないではいけません。爆発する可能性があります。 ● アース線は、水道管、電話線のアース線や避雷針などに接続しない。接地が不十分だったり、落雷などにより感電、火災のおそれがあります。 ● 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。 ● 水に濡れた手、衣服のまま機械の操作をしないで下さい。感電のおそれがあります。
 	<ul style="list-style-type: none"> ● 水、薬品などが機械にかからないようにしてください。万一内部に水などが入った場合は電源プラグをコンセントからすぐに抜いて販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると本機が故障したり、火災、感電の原因になります。 ● 故障のまま機械を使わないでください。煙が出ている、変な音やにおいがするなど、故障状態のまま使用すると火災、感電の原因になります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機は絶対に分解または改造しないでください。火災、感電、故障の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源はAC100V 10A以上の専用コンセントを使用してください。コンセントが発熱しショートして火災をおこすおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● アース線は必ず接続する。万一、漏電した場合に、火災、感電のおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● アース線を接続したりはずしたりする時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。感電の原因になります。

 注 意	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 紙や布を本機の上にかぶせたり置いたりしないでください。火災や故障の原因になります。 ● 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに必ず電源プラグを持って抜いて下さい。コードが破損して火災や感電の原因になります。 ● 床、土台が不安定な場所や振動の激しい場所へは設置しない。機械本体が倒れてけがをするおそれがあります。 ● カバーを開けたまま動かさないでください。
	<ul style="list-style-type: none"> ● サーマルヘッドにはさわらない。サーマルヘッドにさわるとやけどのおそれがあります。 ● 排紙部に手や物を入れないで下さい。内部にカッタがあり非常に危険です。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグは定期的に清掃してください。長い間にホコリなどがたまり、火災や故障の原因になります。 ● プリンタおよびプリンタ専用台の組付け、設置作業は 2 人で実施ください。機械を落とすと、けがや故障のおそれがあります。 ● ヘッドカバーを閉める際には、手をはさまないように注意してください。 ● 機械本体にプリンタ専用台を組付ける場合は、機械本体とプリンタ専用台の固定を確実に行って下さい。機械本体が落下してけがや故障のおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 長期間ご使用にならないときは、サーマルヘッドを“上”の位置にして下さい。プラテンローラの変形などを防ぐ事ができます。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 合成紙など静電気の発生しやすい用紙を使用する時は、用紙取扱い時の静電気にご注意下さい。

お願い USB接続ケーブルについて

USBを使ってパソコンと接続する場合、不具合が発生しないように次のことにご注意下さい。

- 直接RP-970Tとパソコンを接続する場合は、必ず、長さ2m以内のケーブルをお使いください。
- 2mより長いケーブルをお使いになる場合、必ずパソコン側に外部電源供給タイプのハブを間に入れてください。 2mより長いケーブルを直接接続して使うと、パソコンによってはUSBドライバのインストールができなかったり、通信エラーをおこすことがあります。
- ハブとは、パソコン側のUSBポートに接続しUSBポートを増設するもので、USBケーブルとともにパソコンを取り扱うショップでお買い求めできます。

お願い

： 機械のトラブルを避け本機の故障を未然に防止するために、下記の事項を必ず守ってください。

1. トラブルの原因となりますので、次のような場所では使用及び保管をしないで下さい。
 - ① 直射日光のあたる場所やヒーター等の熱源に近い場所
 - ② ほこりや湿度の多い場所
 - ③ 傾いたり振動や衝撃の加わる場所
 - ④ 温度は[10]°C～[30]°C、湿度は[35]%～[75]%以外の環境で使用
 - ⑤ 温度は[-10]°C～[50]°C、湿度が[20]%～[75]%以外の環境で保管

★ 特に、低温の場所に設置した場合、発色が薄くなる事もあります。
2. 動作中に電源スイッチを切ったり電源プラグをコンセントから引き抜いたりしないで下さい。
3. 本機は精密機械です。落としたりぶついたり等をして強いショックを与えないで下さい。
4. 本機とコンピューターの電源を必ずOFFにしてから、インタフェースケーブルを接続して下さい。
5. 高圧電源や強磁界を発生する機器の近くでは使用しないで下さい。故障や異常動作の原因になります。
6. サーマルヘッドには、直接手をふれないで下さい。故障の原因となります。
7. ヘッドカバーを開けた時に、プラテンローラー部やロール紙トレイに、ゴミや異物が入らないように注意して下さい。故障の原因となります。
8. カバーを開けた時にプラテンローラー部やヘッド部を固いものなどでキズつけないようにして下さい。
9. サーマルロール紙は、必ず専用用紙をご使用ください。
10. 専用サーマルロール紙は次のような場所で保管して下さい。
 - ① 温度[30]°C未満
 - ② 湿度[75]%未満
 - ③ 直射日光の当たらない所(暗いところ)開封後の専用サーマルロール紙を一時保管する場合は、包装されていた黒いビニールシートに包んで保管して下さい。
11. マックス専用サーマルロール紙以外は、機械本体のカッターで切断しないでください。
 - ★ 1. RP-970T本体の上カバーの上に物を置いたり、手をついたりしないで下さい。印刷の時に4本のヘッドのつなぎ目の位置に段差ができることがあります。
 - ★ 2. 印字文字数について
このプリンタでは、印刷コマンドにMFGL1(ベクタコマンド)を使用する場合、一度に約500文字の印字が可能です。ただし、文字の画数・大きさ・書体によって印字可能な文字数は変わります。コンピューターから送られる文字数が多すぎる場合は『受信容量オーバー』とLCDに表示し停止します。電源をOFFにしてください。データを修正して容量を小さくしてください。
 - ★ 3. マックス専用用紙について
マックス専用用紙はRP-950T用専用紙が使用できます。専用紙をご使用いただくことで高品位な印刷を高速で出力することができます。

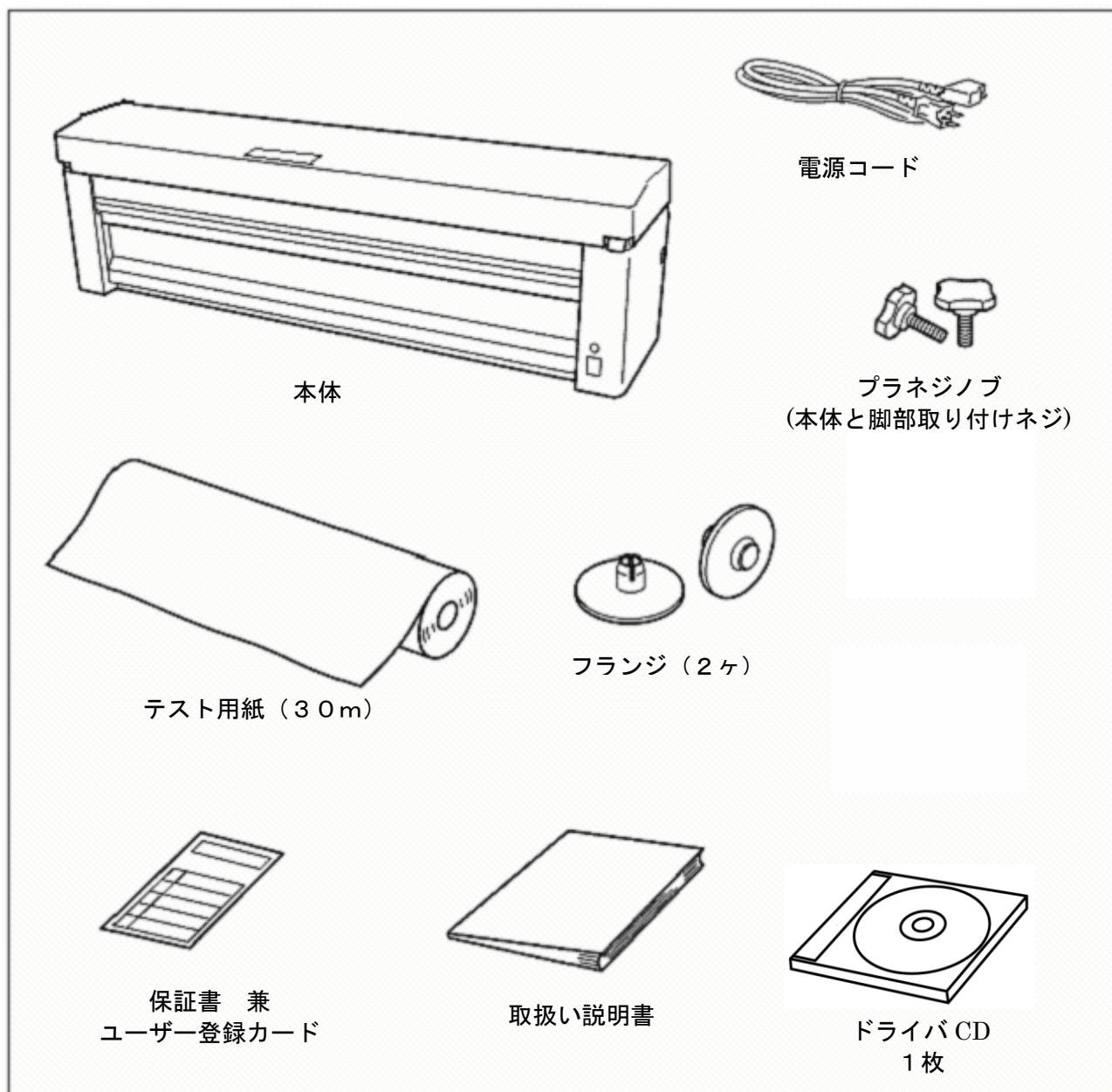
目 次

	ページ
はじめに	1
ご使用上の注意	
警告	2
注意	3
お願い	4
目次	5
第1章 RP-970Tの設置方法	
付属品の確認	7
RP-970Tの設置	8
第2章 ドライバのインストール	
ケーブルの接続	11
プリンタドライバのインストール	12
第3章 用紙のセット方法	17
第4章 用紙感度の設定	21
専用紙を使う	22
第5章 プリンタドライバの設定	25
「用紙設定シート」の設定	26
「印刷設定シート」の設定	28
第6章 パネルの設定	29
操作パネル機能	30
表示濃度、印刷枚数	31
オートカッタの設定	32
印刷モード設定	33
バックライトの設定	34
通信設定	35
テスト印刷	33
第7章 エラー表示	37
第8章 故障？こんなときには	39
第9章 仕様	41

第1章 RP-970Tの設置方法

1-1 付属品の確認

お買い上げのRP-970Tには、以下の付属品が入っています。箱を開けてすべての物が揃っているかお確かめ下さい。



★ コンピュータとプリンタを接続するインタフェースケーブルは、同梱されていませんので、別途お買い求め下さい。








USBケーブルはUSB2.0対応のケーブル、LANケーブルはエンハンストカテゴリ5 (CAT-5E)以上のケーブルを使用してください。







1-2 RP-970Tの設置

本機は、精密な機械です。

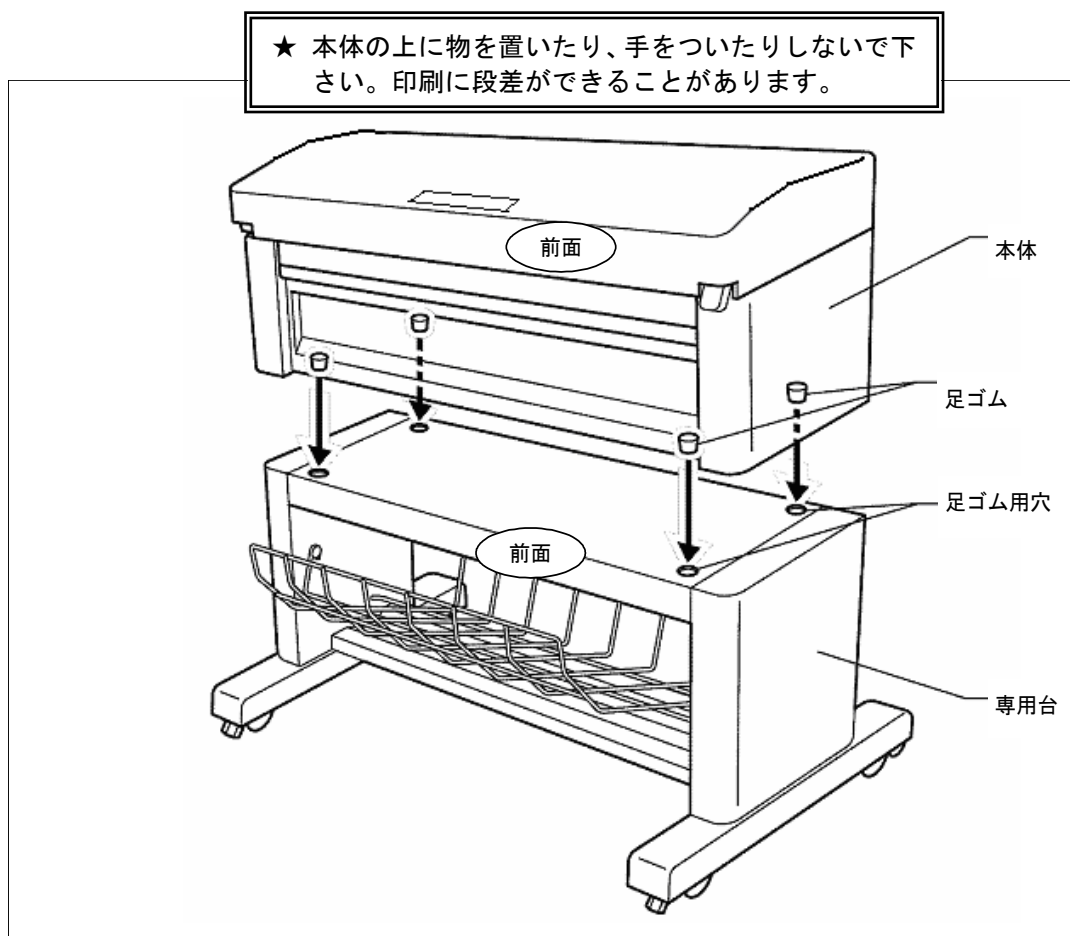
いつも安全に操作していただくためにも次のような注意をお守りください。

第1章 RP-970Tの設置方法

 警 告	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源は直接コンセントからとり<u>タコ足配線はしない</u>でください。火災の原因になります。 ● 電源コードを加工しないで下さい。火災感電のおそれがあります。 ● 電源コードの上に重いものを<u>絶対にのせない</u>でください。コードに傷が付いて火災や感電の原因になります。 ● アース線は絶対に<u>ガス管につないではいけません</u>。爆発する可能性があります。 ● アース線は、水道管、電話線のアース線や避雷針などに接続しない。接地が不十分だったり、落雷などにより感電、火災のおそれがあります。 ● 濡れた手で電源プラグを<u>抜き差ししない</u>でください。感電の恐れがあります。
 	<ul style="list-style-type: none"> ● 水、薬品などが機械に<u>かからない</u>ようにしてください。万一内部に水などが入った場合は電源プラグをコンセントからすぐに抜いて販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると本機が故障したり、火災、感電の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源は <u>AC100V10A以上の専用コンセントを使用</u>してください。コンセントが発熱しショートして火災をおこすおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● アース線は必ず接続する。万一、漏電した場合に、火災、感電のおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● アース線を接続したりはずしたりする時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。感電の原因になります。

 注 意	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 紙や布を本機の上にかぶせたり置いたりしないでください。火災や故障の原因になります。 ● 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに必ず電源プラグを持って抜いて下さい。コードが破損して火災や感電の原因になります。 ● 床、土台が不安定な場所や振動の激しい場所へは設置しない。機械本体が倒れてけがをするおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグは定期的に清掃してください。長い間にホコリなどがたまり、火災や故障の原因になります。 ● プリンタおよびプリンタ専用台の組付け、設置作業は2人で実施ください。機械を落とすと、けがや故障のおそれがあります。 ● ヘッドカバーを閉める際には、手をはさまないように注意してください。 ● 機械本体にプリンタ専用台を組付ける場合は、機械本体とプリンタ専用台の固定を確実に行って下さい。機械本体が落下してけがや故障のおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 長期間ご使用にならないときは、サーマルヘッドを“上”の位置にして下さい。プラテンローラの変形などを防ぐ事ができます。
	<ul style="list-style-type: none"> ● アース線は必ず接続して下さい。合成紙などのフィルム系用紙は取扱い時に静電気を発生します。

1. 本体を専用台の上に、足ゴムを合わせてのせます。

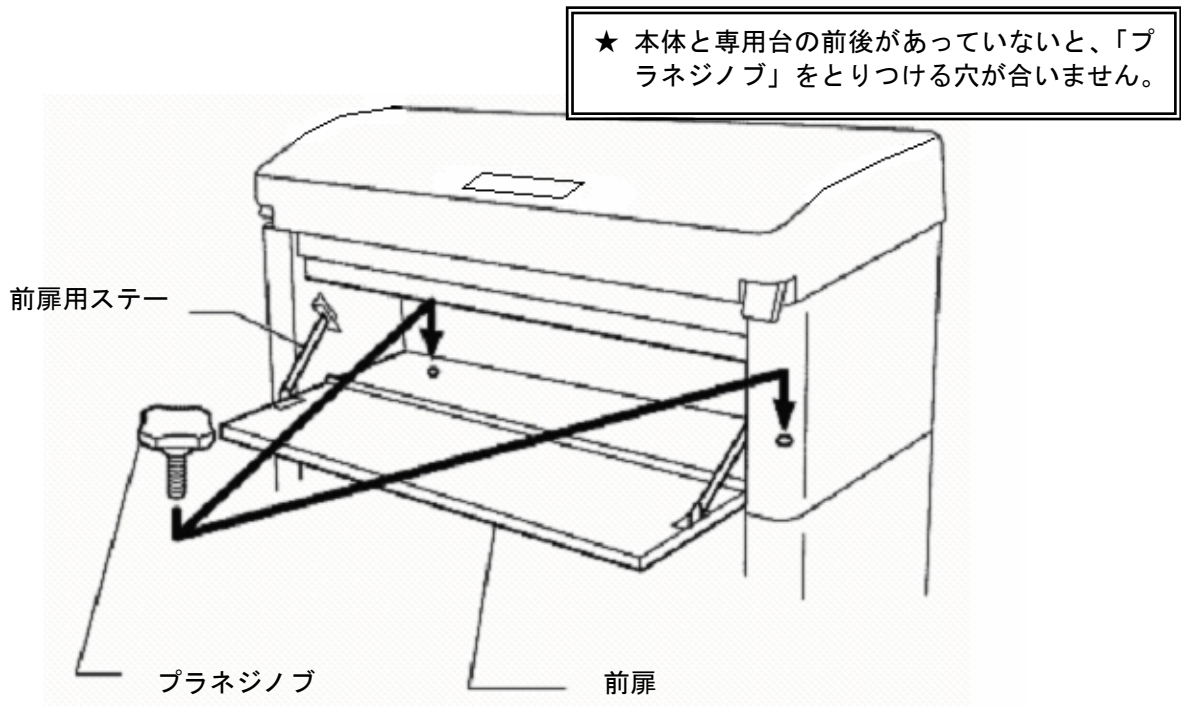


⚠ 注 意	
⊘	<ul style="list-style-type: none"> ● プリンタおよびプリンタ専用台の組付け、設置作業は2人で実施してください。機械を落とすと、けがや故障のおそれがあります。 ● 機械本体にプリンタ専用台を組付ける場合は、機械本体とプリンタ専用台の固定を確実に行って下さい。機械本体が落下してけがや故障のおそれがあります。

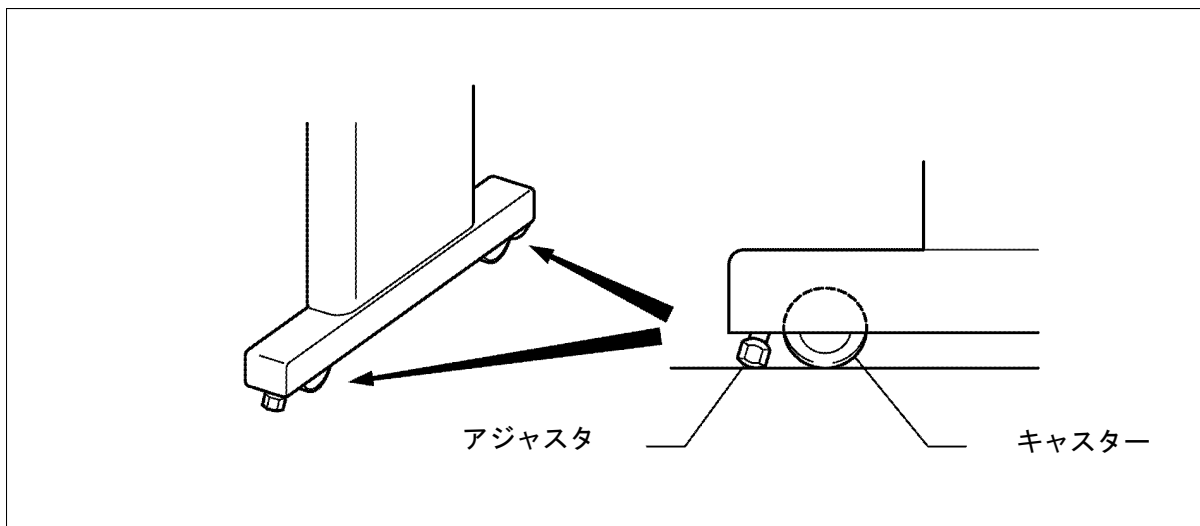
お願い：機械のトラブルを避け本機の故障を未然に防止するために、下記の事項を必ず守ってください。

1. トラブルの原因となりますので次のような場所では使用及び保管をしないで下さい。
 - ① 直射日光のあたる場所やヒーター等の熱源に近い場所
 - ② ほこりや湿度の多い場所
 - ③ 傾いたり振動や衝撃の加わる場所
 - ④ 温度は[10]°C以下または[30]°C以上、湿度は[35]%以下または[75]%以上となる環境で使用しないでください。
 - ⑤ 温度は[-10]°C以下または[50]°C以上、湿度は[20]%以下または[75]%以上となる環境で保管しないでください。
2. 高圧電源や強磁界を発生する機器の近くでは使用しないで下さい。故障や異常動作の原因になります。

2. 本体の前扉を開けて、本体と専用台を付属品の「プラネジノブ」で固定します。



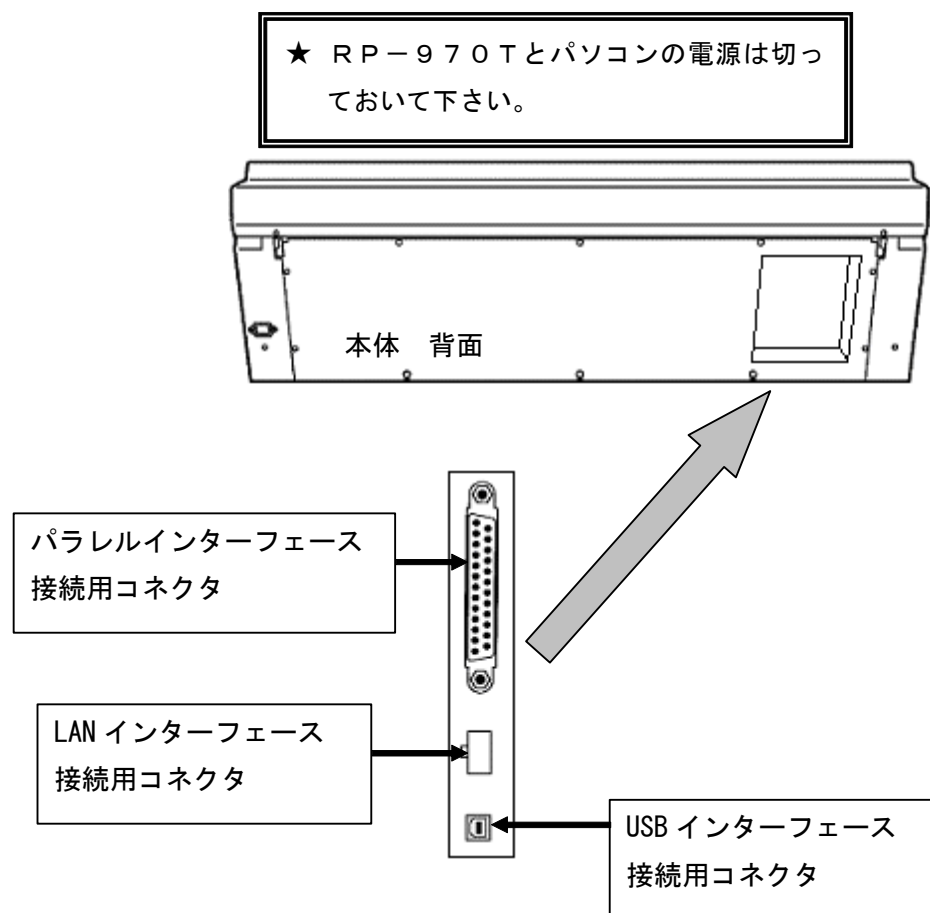
3. 専用台はキャスタが付いていますので、ご希望の位置に移動したら、アジャスタをまわして専用台が動かないように固定して下さい。



第2章 プリンタドライバのインストール

RP-970Tとコンピューターを接続するには、USB接続とLAN接続、パラレル（セントロニクス）接続の3種類があります。ご利用の接続方法に合わせ、接続ケーブルを別途ご用意いただくから、次にお進み下さい。

2-1 ケーブルの接続



- ★ パラレル接続は WindowsXP,Vista,7 で使用できます。
- ★ LAN ケーブルはカテゴリ5（CAT-5）以上のケーブルを使用してください。

- ★ USB接続は WindowsXP,Vista,7 で使用できます。
- ★ USBケーブルは、プリンタドライバをインストールするまで接続しないでください。プリンタドライバのインストール手順に従って接続して下さい。

2-2 プリンタドライバのインストール

パソコンにRP-970T用のプリンタドライバを、インストールします。
インストールを行う前に、下記注意事項を必ずお読みください。

- ※LAN接続する場合は、あらかじめIPアドレスやサブネットマスクなど必要な項目を準備してください。
- ※ケーブルを接続する場合は、一旦パソコンの電源を切ってから、接続してください。
- ※他のアプリケーションを起動している場合は終了させてください。

1. RP-970Tとパソコンがケーブルで接続されている事を確認して、パソコンの電源を入れます。


2. ドライバCDをパソコンのCDドライブに挿入します。セットアッププログラムが起動し、右の画面となります。

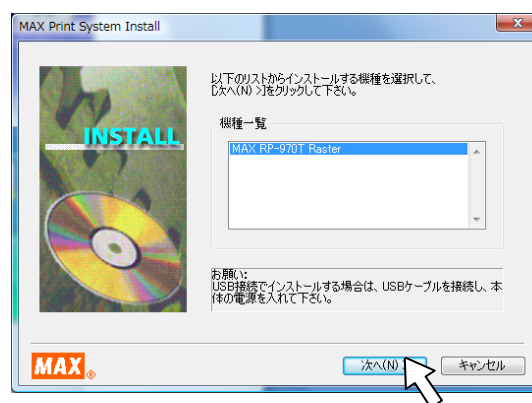
- ★パソコンの設定によっては、自動でセットアッププログラムが起動しない場合があります。その場合は、エクスプローラーを起動し、CDドライブを開いて、MPSSETUP.exeをダブルクリックして起動して下さい。
- ★パソコンの起動は、コンピュータの管理者またはアドミニストレーターの権限で起動してください。
- ★Windows7/Vista をご使用の場合には、「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されますので、許可を選択してください。



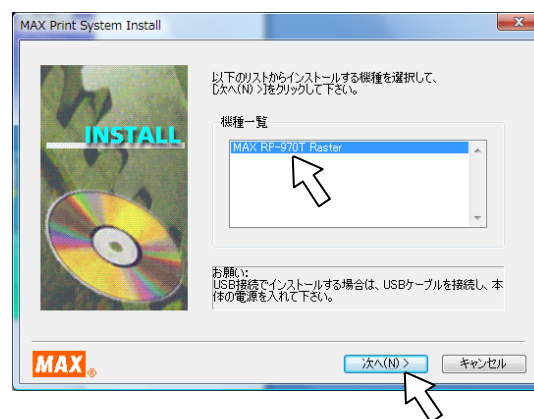
3. 「ドライバのインストール」をクリックすると、機種選択画面となります。

USB 接続でインストールする場合は、USB ケーブルでパソコンと接続し、プリンタ本体の電源を入れてください。

インストールしない場合は、右上の  をクリックしてください。



4. MAX RP-970T Raster をクリックして反転表示させ、**次へ(N)>** をクリックします。



5. パソコンと本体を接続するケーブルの形式（インターフェース形式）を選択し、**次へ(N)>** をクリックします。
※ここでは“USB ケーブル”を選択します



6. 「接続ケーブル」が選択している USB ケーブルか LAN ケーブルかパラレルケーブルかを確認して、**インストール** をクリックします。



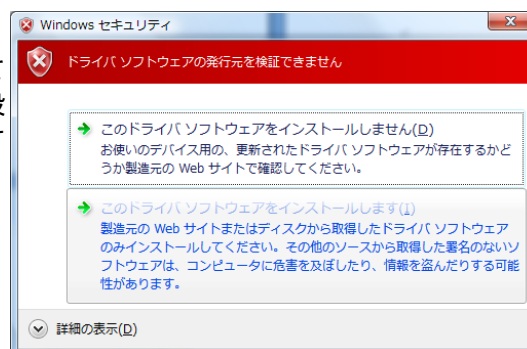
7. インストールは、いくつかのドライバファイルを表示しながらインストールを行います。



8. インストール中に「Windows セキュリティ」「ハードウェアのインストール」「ソフトウェアのインストール」の警告画面がそれぞれ数回表示されますが、“・・・インストールする”や“続行(C)”をクリックします。

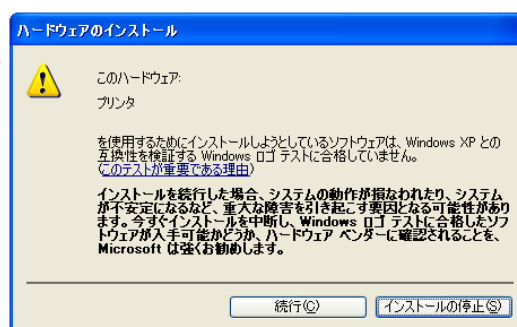
Windows7/Vista

Windows セキュリティの警告が出ますが、当社にて十分な検証を行っておりますので、ご安心して下段の“このドライバソフトウェアをインストールする”を選択してください。



WindowsXP

Windows セキュリティの警告が出ますが、当社にて十分な検証を行っておりますので、ご安心して“続行”を選択してください。



9. USB 接続の場合、右の表示が出了したら、パソコンと本体を USB ケーブルで接続し、RP-970Tの電源スイッチを入れてください。引き続きインストールが実施されます。

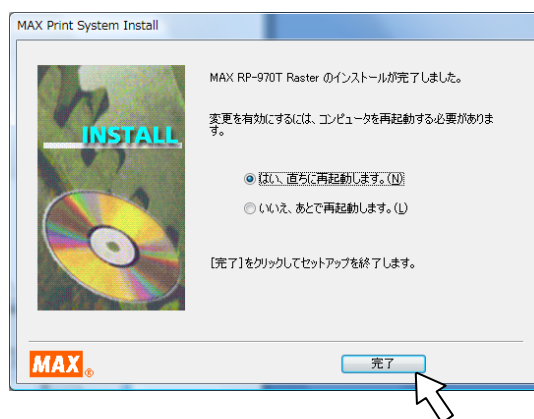
★LAN 接続やパラレル接続の場合は、右図は表示されません。



10. LAN 接続の場合は、右図のようにポートの名前と IP アドレスを入力します。



11. インストールが終了すると右の画面となります。完了 をクリックし、コンピュータを再起動します。



★Windows を再起動しない場合は、プリンタドライバの正常な動作は保証できません。ご使用になる前に必ず、Window を再起動してからご使用ください。

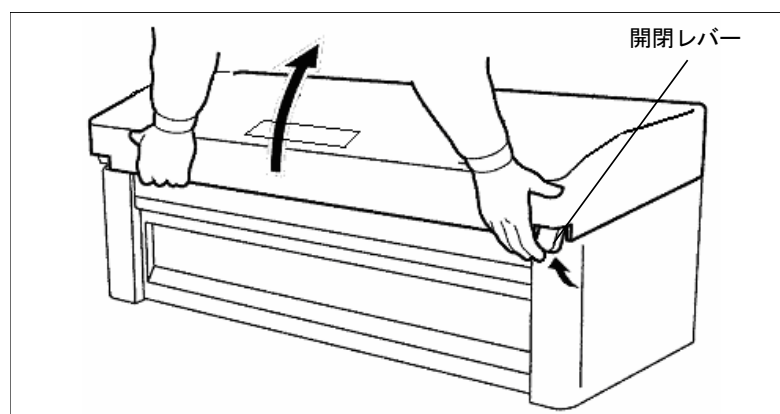
第3章 用紙のセット方法

RP-970Tで使用する用紙はサーマルロール紙で、サーマルヘッドの発熱したところが黒く変わります。マックスのサーマルロール紙はRPシリーズで最適に発色するよう、また耐光性が得られるように作られた特殊な用紙です。

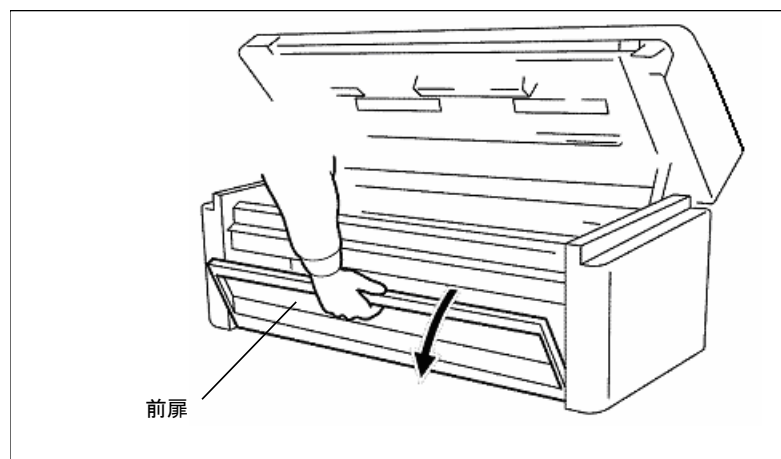
お願い

- 1) サーマルロール紙は、必ず専用用紙をご使用ください。
- 2) 専用サーマルロール紙は次のような場所で保管して下さい。
 - ① 温度[30]°C未満
 - ② 湿度[75]%未満
 - ③ 直射日光の当たらない所(暗いところ)開封後の専用サーマルロール紙を一時保管する場合は、包装されていた黒いビニールシートに包んで保管下さい。
- 3) マックス専用サーマルロール紙以外は、機械本体のカッターで切断しないでください。
- 4) 純正品以外の用紙をご使用になりますと、耐光性のある良質な印字品質が得られないだけでなく、サーマルヘッドやローラーの磨耗など機器本体への悪影響にもつながります。(純正品以外の消耗品ご使用による機器トラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。)

1. 上部カバーを開けます。

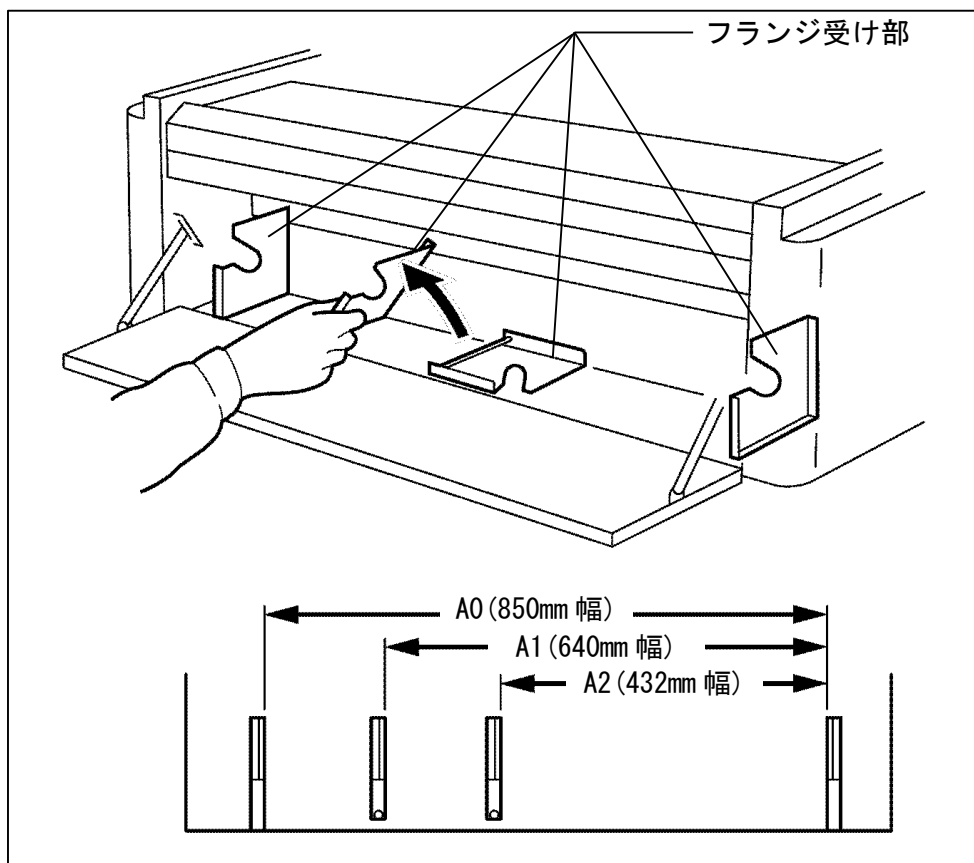


2. 前扉を開けます。

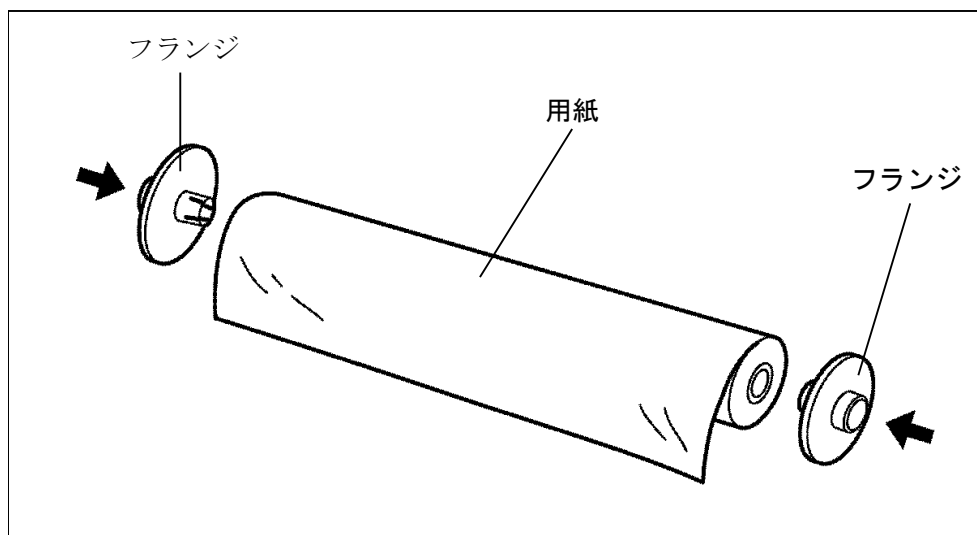


第3章
用紙のセット方法

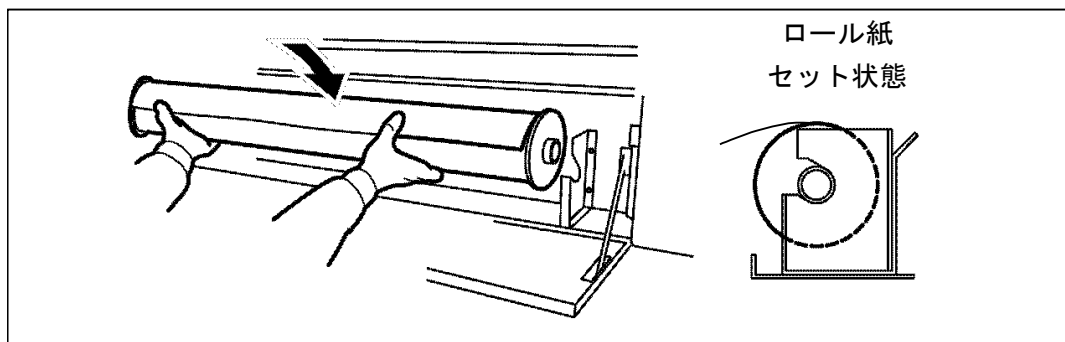
3. 使用する用紙のサイズに合わせて、本体のフランジ受け部をセットします。



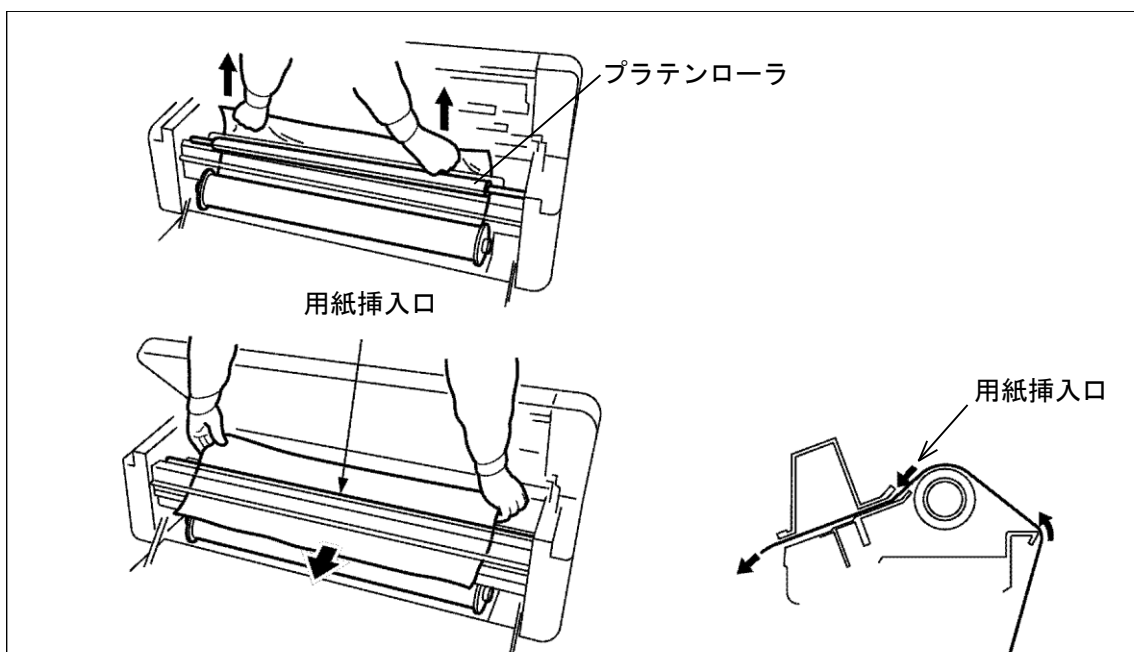
4. 用紙の梱包を開き、用紙の芯にフランジ（左・右）を差し込みます。



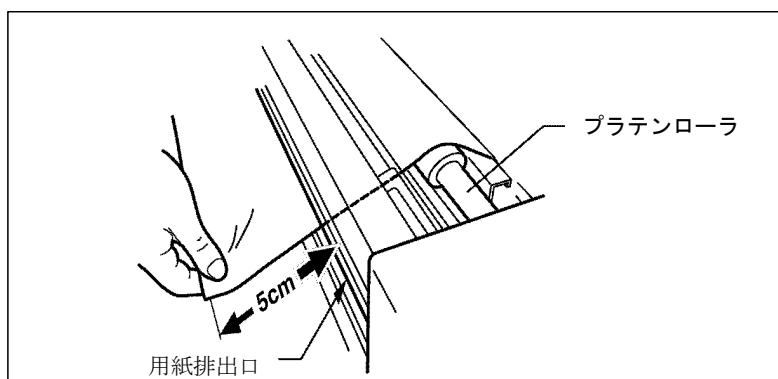
5. サーマルロール紙の巻を上にして、本体のフランジ受け部の手前にのせて、フランジ受け部に落とし込みます。



6. プラテンローラの奥側の上部からサーマルロール紙を引き出し、サーマルロール紙の先端を用紙挿入口に通して、下図のようにセットします。

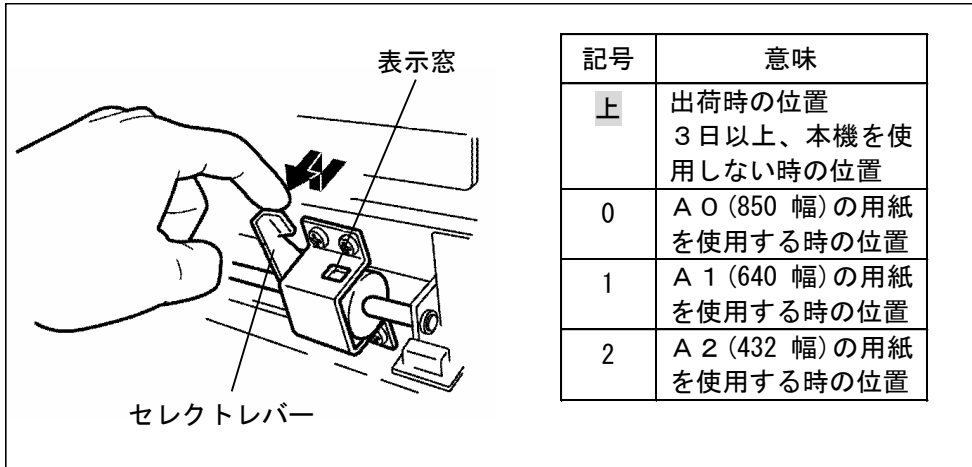


7. 用紙排出口から出てきたサーマルロール紙を、両端を持ちながら平行に引いて、本体から5cm程出た状態にします。

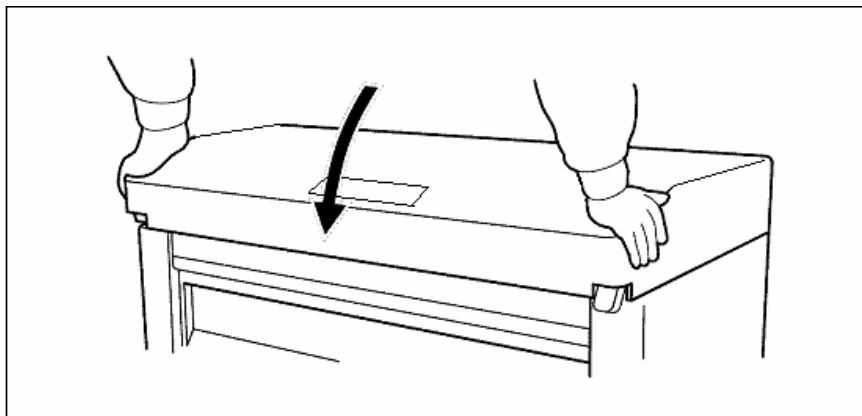


8. 前扉を閉めます。

9. 上部カバー右端についているセレクトレバーを操作して、ヘッドポジションを示す窓の表示を、使用する用紙幅に対応する記号に合わせて下さい。

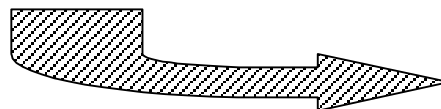


10. 上部カバーを上から押さえつけるようにして閉めます。



- ★1. この時、操作パネルのLEDが赤点灯し、「用紙サイズエラー」のLCD表示が出た場合は、サーマルロール紙の用紙サイズとヘッドポジションとが一致していませんので正しくセットし直してください。
- ★2. 用紙が本体より5cm程度引き出されていることを確認してください。ロール紙が出ていないと、紙送り不良の原因になります。
- ★3. 用紙交換直後の最初の一枚を印刷するときは、自動的に先端カットが入ります。

引き続き、「用紙感度の設定」をしてください。



第4章 用紙感度の設定

RP-970Tでは、用途に合わせて9種類の専用紙を用意しております。RP-970Tの専用紙を使用すると、用紙感度の設定が自動で設定され（初回のみ手動設定）、用紙種類に適した濃度で印字できます。

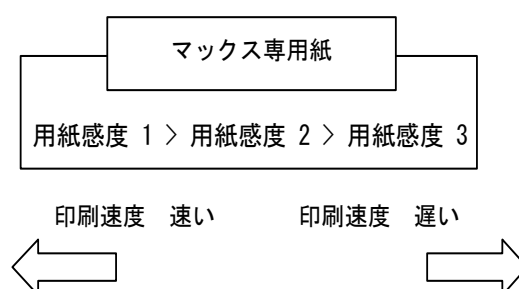
それぞれの専用用紙は、用紙の材質の差によって適切な印刷エネルギーが異なります。下の対応表に合わせて、お使いの用紙の用紙感度を操作パネルの「用紙感度」で設定してください。もし、セットした用紙とパネル入力した内容が違っているときは、薄い印刷になったり、印字文字が潰れたりしますが、1枚は印刷し2枚目からは用紙に適した用紙感度で印刷を行います。また、RP-970T専用紙でない場合はエラーとなって印刷できません。

用紙の種類と用紙感度

★1	RP-970T専用紙設定
厚手コート紙	1
耐光紙	1
耐水紙	2
感熱紙	2
標準紙	2
木目紙	2
合成紙 N	3
クロス合成紙	3
白色・高保存紙	3

★1 A0、A1、A2とも同じ用紙感度です。

★2 用紙感度によって印刷速度が異なります。



4-1 RP-970T専用紙を使う

RP-970T専用紙を、「第3章 用紙のセット方法」に従ってセットします。

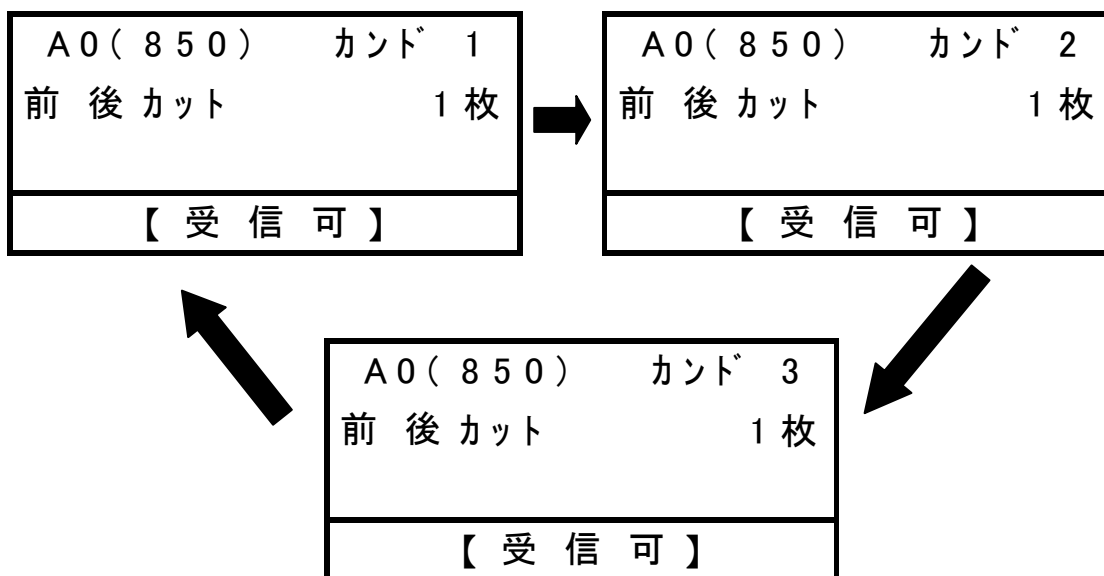
第4章 用紙感度の設定


A0(850)	カント` 1
前後カット	1枚
【受信可】	

1. 専用紙を使用するには、前頁の用紙種類と感度にあわせて、用紙感度設定を行う必要があります。
用紙感度設定を間違えた場合でも、自動検出で2枚目からは正しい用紙感度で印刷することができます。

2. **用紙感度** キーを押すごとに、以下のように設定が変わります。

用紙感度 1 ⇒ 用紙感度 2 ⇒ 用紙感度 3 ⇒ 用紙感度 1 ⇒ . . .



 用紙感度 キーを押すごとに、以下の画面が1秒間表示されます。


A0(850)	カント` 2
— 用紙感度 —	
保存中 . . .	
【受信可】	

- ★ セットされた用紙が「マックス専用紙」ではなかった場合、約3.5cm印刷したところでエラー表示して印刷を中止します。

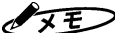
A0(850) カンド 1 電源をOFFして ください
専用紙以外

- ★ 設定した用紙感度と、セットされた用紙種類が異なる場合は以下のように表示し、次に印刷するデータから設定を変更します。

A0(850) カンド 3 感度1を感度3に 変更します
感度不一致

 サーマルプリンタは熱で発色させる機構のため、低温時に印字が薄くなる場合があります。そのようなときには、印刷速度を下げることで、濃く印字することができます。

詳しくは、「第6章のパネル操作—印刷モード」をご覧ください。

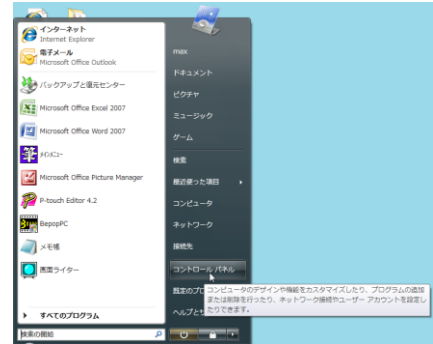
 但し、用紙感度3の用紙については、設定以上に濃く印字することはできません。

第5章. プリンタドライバの設定

インストールしたプリンタドライバの設定画面を使って、RP-970T の印刷条件を変えます。例えば、印刷する方向の指示や、印刷しようとする用紙サイズの指示は、書家の筆などのアプリケーションで入力した内容を正しく印刷するために必要となります。RP-970T のパネルで設定できる項目と合わせてお読みください。

1. スタート → 「コントロールパネル」を開きます。

- ★ Windows のバージョンによって開き方が変わりますので、それぞれの Windows マニュアルを参照してください。



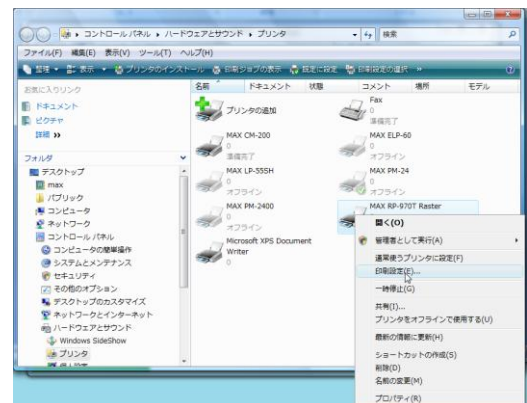
2. 「コントロールパネル」内のハードウェアとサウンドのプリンタにカーソルを合わせクリックし、プリンタフォルダを開きます。



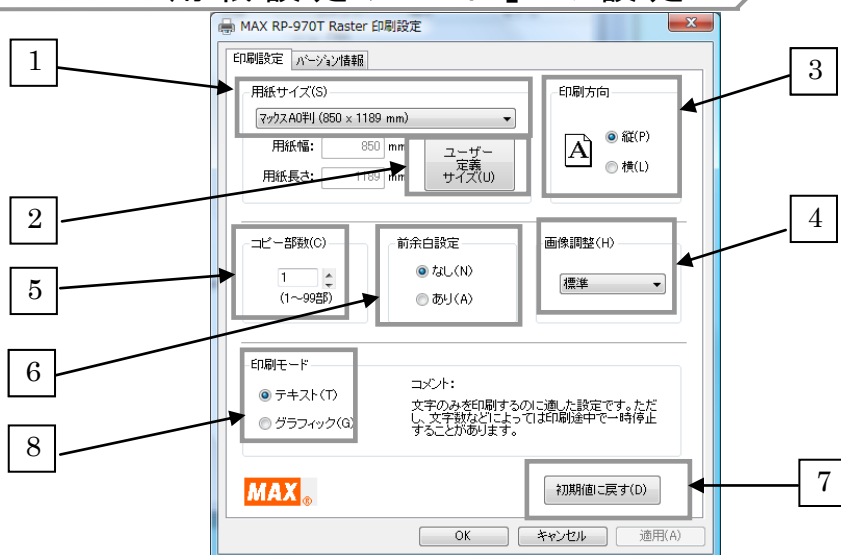
3. 「MAX RP-970T Raster」をマウス右ボタンでクリックし、「印刷設定」を左ボタンでクリックします。

- ★ プリンタドライバの「印刷設定」は、アプリケーション（例えば、書家の筆「SF-600」）の「ファイル」メニューの「印刷」から「プロパティ(P)」をクリックしても表示できます。

- ★ 「プロパティ」をクリックして開く「全般」「ポート」「詳細設定」等のシートは Windows の機能ですので、本書ではこれらのシートの説明を省きます。

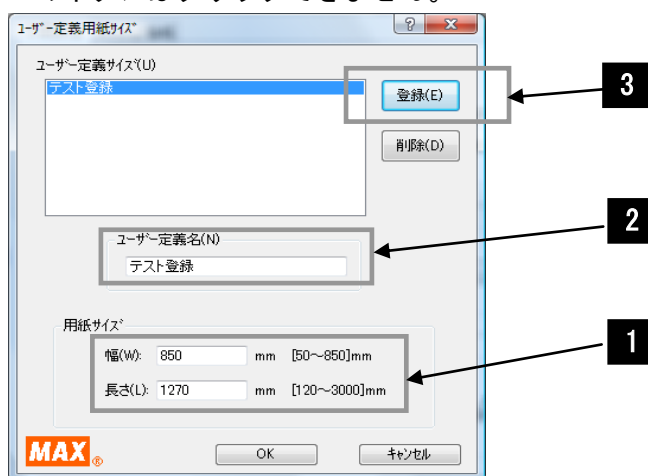


5-1 「用紙設定シート」の設定



★Windowsによっては「全般」「詳細」「色の管理」のシートが存在します。


- 1 用紙サイズ (S)・・・用紙サイズを設定するときにクリックします。定型のA0 (850×1189mm)、A1 (640×841mm)、A2 (432×594mm)と、長尺3mまでのA0 (850×3000mm)、A1 (640×3000mm)、A2 (432×3000mm)の6種類が標準として用意されています。2でユーザー定義サイズが追加されると、選択項目に現れます。
- 2 ユーザー定義サイズ (U)・・・定型外のサイズを定義できます。
★アプリケーションの印刷（例えば、「書家の筆」の印刷・プロパティ）からプロパティシートを開いた場合は、このボタンはクリックできません。



メモ アプリケーションで設定した用紙サイズが標準6種類以外の場合（式次第や長い垂れ幕等）は、ユーザー定義サイズで合わせて下さい。アプリケーションとドライバの用紙サイズが合っていないと正しく印刷できません。ユーザー定義のサイズは20種類登録できます。

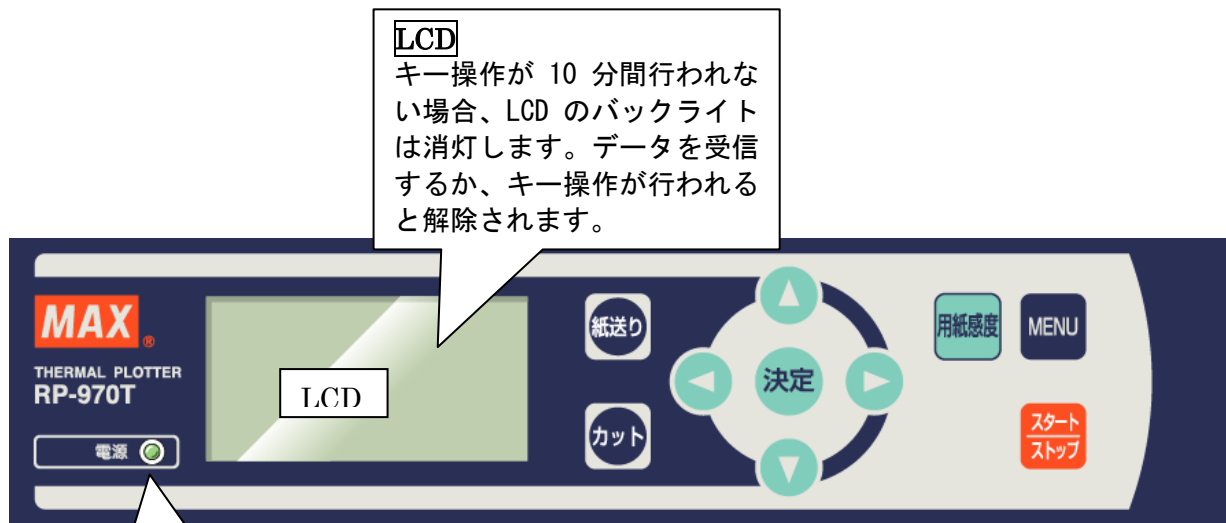
- 3 印刷方向・・・印刷の縦・横方向を設定します。印刷する原稿の横幅が、セットされている用紙幅より大きい場合は、印刷方向「横」をクリックします。
- 4 画像調整・・・印刷の濃度を「うすい、標準、濃い」の三段階から選択します。完全に真黒な部分は濃くにしてもそれ以上濃くなりませんが、画像データ等のトーンがある部分を濃くすることができます。

メモ 外気温が冷たくて薄めに印刷する時は、この設定で濃くするのではなく、RP-970T側のパネル設定で濃くしてください。

- 5 コピー部数 (C)・・・印刷する枚数を指定します。RP-970T のパネルで設定されたコピー枚数とこのコピー部数を掛け合わせた枚数が印刷されます。
- 6 前余白設定・・・パソコン画面の用紙の前端（縦長用紙の場合上部）にある印刷できない余白（77 mm）部分に入力されているデータを送信するか設定します。
この設定は、RP-970T 本体のオートカットが「前後カット」になっているときこの設定を“なし”に設定すると、画面イメージ通りの印刷ができます。
-  この設定は、前後カットで前端余白部分 77 mmをカットし、画面と同じ成果物を印刷できます。
- 7 初期値に戻す (D)・・・用紙サイズ、印刷方向、コピー部数を初期値に戻します。
- 8 印刷モード・・・テキストモードではパソコンからデータを転送している間に、印刷を始めるので、全体の印刷時間が短くなります。ただし、パソコンのスピードが遅い場合は印刷速度にデータ転送速度が追いつかず、印刷が途中停止することになり、この時はきれいな印刷になりません。グラフィックモードはデータ転送が終わってから印刷を始めるので、全体の印刷時間は長くなりますが、途中で印刷が止まることはありません。パソコンの速度が遅い場合、データ量が多い場合に印刷が途中で止まるときは、グラフィックモードを選択して下さい。

第6章 パネルの設定

パネルを操作することにより RP-970T の通信方法や用紙の種類を選択したり、テスト印字を実行することができます。第5章のプリンタドライバで設定できる項目と合わせてお読みください。



LCD

キー操作が 10 分間行われ
ない場合、LCD のバックライト
は消灯します。データを受信
するか、キー操作が行われる
と解除されます。

LED

緑点灯：電源 ON
緑点滅：データ受信
赤点灯：エラー(軽)
赤点滅：エラー(中)
赤緑交互点滅：エラー(重)

- ★ 印刷中に **ストップ** キーを押すと、LEDが赤緑交互に点滅しエラー表示します。印刷の途中停止はデータ受信が未完のままになりますので、エラーとなります。この時は、パソコン側の送信をキャンセルし、RP-970Tは一旦電源をOFFしてください。

A0(850)	カント	1
電源をOFFして ください		
【印刷中止】		

- ★ オートカットが「無カット」になっていると、印刷終了後の **紙送り** キーは、カットしても文字を切らない位置まで用紙を送ります。それ以外の時は1cmずつ送り出し、送り出した長さをLCDの右下段に表示(cm)します。

A0(850)	カント	1
前後 カット		1枚
		1cm
【受信可】		

6-1 操作パネル機能

操作パネルにあるキーの機能は以下のとおりです。

M E N U	:	各種設定メニューに移行します。ここで設定した内容は、電源を切っても保持され、次に使用するときにも設定は有効です。
用紙感度	:	使用する用紙の感度設定を行います。ここで設定した内容は電源を切っても保持されます。
紙送り	:	印刷待機状態に、このキーを押すことで1 cm単位で用紙を送り出します。送り出した長さは、LCDの右下に表示されます。
カ ッ ト	:	印刷待機状態では、オートカッタを動作させ、用紙をカットします。用紙セット直後に使用します。また、「無カッ」に設定して印刷終了後に押すと、用紙をカット位置まで送り出してカットします。
スタート /ストップ	:	印刷データが本体内にあるときは、その内容をコピー印刷します。印刷中に押すと、印刷を中止します。このときは、一旦電源スイッチを切ってください。
← ↑ → ↓	:	設定時のカーソル移動に使用します。
決 定	:	選択した設定を確定します。

M E N U キーで設定できる項目

	項目	概 要	初期値	設定範囲
①	表示濃度	L C Dの表示濃度を調整設定します。	7	1 ~ 14
②	印刷枚数	1回のデータ送信で印刷する枚数を指定します。	1枚	1枚 ~ 99枚
③	オートカット	前後カッ、後カッ、無カッから選択します。 前後カッの時は1枚印刷する毎に、用紙の前端余白をカットし、印刷終了後にカットします。	前後カッ	前後カッ 後カッ 無カッ
④	印刷モード	高速、中速、低速が選択できます	高速	高速 中速 低速
⑤	バックライト	L C Dバックライトの自動消灯機能の有効/無効を設定します。	する	する しない
⑥	通信設定	ネットワークで使用するときの設定を行います。	—	—
⑦	テスト印字	本機単体でテスト印字を行います。	No1 400 mm	No1 ~ No5 10 mm ~ 1000 mm

★ これらの項目は、電源をOFFしても、直前に設定されていた状態がメモリーされます。次に電源がONされた時は、そのメモリーされた内容が復帰します。

6-2 表示濃度、印刷枚数の設定

印刷待機画面を表示させます。
LCD画面の表示濃度の設定と、印刷枚数の設定を行います。

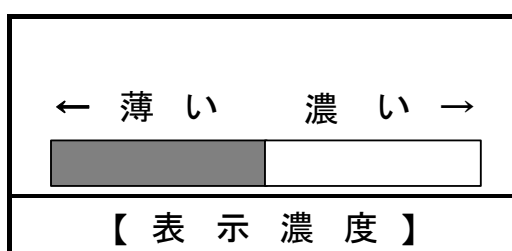
■ 表示濃度調整

LCDの表示濃度を調整します。

- 印刷待機画面で **MENU** キーを押し、メニューを表示させます。
「表示濃度」が反転表示されている状態で **決定** キーを押しします。



- 表示濃度を **←** ・ **→** キーで調整します。

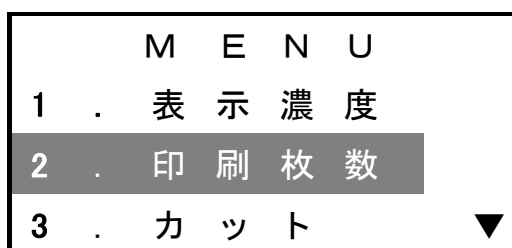


- 適正な状態に調整できたら **決定** キーを押しします。印刷待機画面に戻ります。

■ 印刷枚数の設定

パソコンから一回のデータ送信で印刷する枚数を指定します。ここで設定された枚数は、電源を切っても有効です。

- 印刷待機画面で **MENU** キーを押し、メニューを表示させます。
↓ キーで「印刷枚数」を反転表示させ **決定** キーを押しします。



- 印刷枚数を **↑** **↓** キーで設定します。



- 印刷枚数が決まったら **決定** キーを押すと印刷待機画面に戻ります。

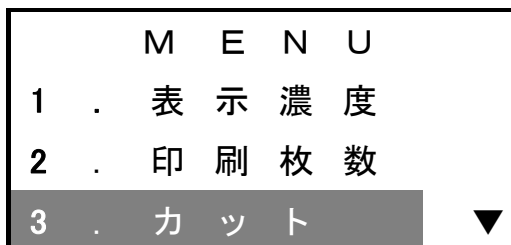
6-3 オートカッタの設定

印刷待機画面を表示させます。

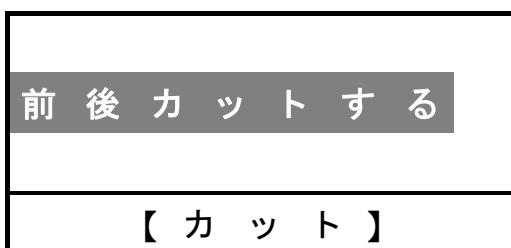
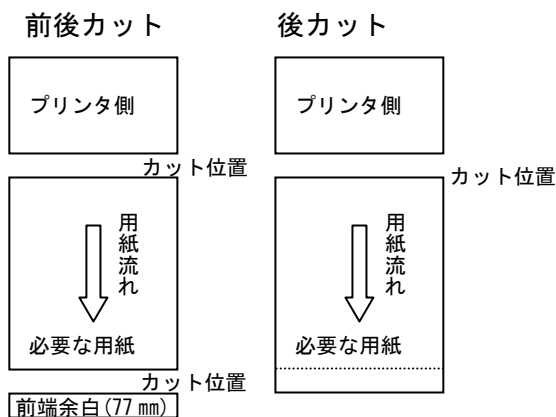
■カッタ設定

本機に搭載しているオートカッタの動作を設定します。

- 印刷待機画面で **MENU** キーを押し、メニューを表示させます。
 ↓ キーで「カッタ」を反転表示させ **決定** キーを押します。



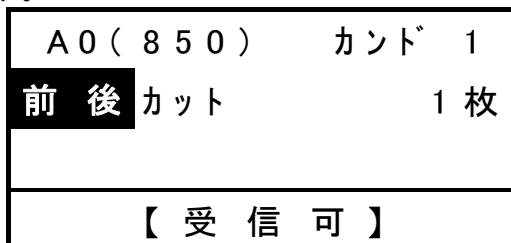
- ↑ ↓ キーで設定を変更します。
 オートカッタの動作は次の3パターンとなります。
 目的のカッタ方法を選択し、**決定** キーを押します。



- メモ** カッタなしに設定しても、印刷後に カッタ キーを押すことで、手動カッタもできます。

- 決定** キーが押されることで、印刷待機画面に戻ります。

- メモ** 印刷待機画面でも、↑ ↓ キーを押すことで、オートカッタの動作を変更できますが、電源を切ると「MENU」で設定された動作に戻ります。



6-4 印刷モード設定

印刷するときのモードを設定します。

- メモ** 通常は「高速」で使用しますが、冬季など外気温が低い場合、印字が薄くなる傾向です。そのようなときには、中速に切り替えることで濃く印字することができます。但し、用紙感度3の用紙については効果がありません。

	高速	中速
用紙感度1の用紙	用紙感度1	用紙感度2
用紙感度2の用紙	用紙感度2	用紙感度3
用紙感度3の用紙	用紙感度3	用紙感度3

- 1.** 印刷待機画面で **MENU** キーを押し、メニューを表示させます。
↓ キーで「印刷モード」を反転表示させ **決定** キーを押します。

	M E N U	▲
4	印刷モード	
5	バックライト	
6	通信	▼

- 2.** **←** **→** キーで印刷モードを選択します。

スタートキー：テストインサツ
高速 / 中速
【印刷モード】

- メモ** それぞれの印刷速度は下表のとおりです。

	高 速	中 速
用紙感度1の用紙	25.0 mm/秒	20.8 mm/秒
用紙感度2の用紙	20.8 mm/秒	17.8 mm/秒
用紙感度3の用紙	17.8 mm/秒	17.8 mm/秒

- メモ** 設定した印刷モードで、正しく印刷できるか確認していただくため、テスト印刷することができます。

・ **スタート/ストップ** キーを押すことで全黒印字（40 mm）します。

- メモ** この状態で **用紙感度** キーを押すことで、低速モードを表示選択できるようになります。このモードは検査確認のためのモードで、専用紙の識別を行いません。

- 3.** **決定** キーで印刷モードを確定し、印刷待機画面に戻ります。

6-5 バックライトの設定


LCDバックライトの自動消灯機能の有効/無効を設定します。


第6章 パネルの設定

1. 印刷待機画面で **MENU** キーを押し、メニューを表示させます。
↓ キーで「バックライト」を反転表示させ **決定** キーを押します。

	M E N U	▲
4 .	印 刷 モ ー ド	
5 .	バ ッ ク ラ イ ト	
6 .	通 信	▼

2. ↓ ↑ キーで、「バックライト」の自動消灯機能を使用するか選択します。

 バックライト消灯状態から、点灯状態に戻すには、操作パネルのいずれかのキーを操作するか、パソコンからデータが送られたときに点灯状態に戻ります。

 消灯状態からの操作では、操作パネルのキー操作の1回目で点灯状態に戻り、2回目からキーの機能が使用できます。

操 作 な し 1 0 分 後
自 動 で 消 灯 す る
【 バ ッ ク ラ イ ト 】


操 作 な し 1 0 分 後
自 動 で 消 灯 し な い
【 バ ッ ク ラ イ ト 】

3. **決定** キーで印刷モードを確定し、印刷待機画面に戻ります。

6-6 通信設定

パソコンとの接続は、USB/パラレル（セントロ）/LANが使用できます。

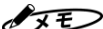
ここでは、LANで使用するための設定を行います。



 USBとパラレル（セントロ）はすぐにご使用いただけます。設定は必要ありません。

- 1** . 印刷待機画面で **MENU** キーを押し、メニューを表示させます。
↓ キーで「通信」を反転表示させ **決定** キーを押しします。

	M E N U	▲
4 .	印 刷 モ ー ド	
5 .	バ ッ ク ラ イ ト	
6 .	通 信	▼

- 2** . ネットワークで使用するために、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの3つのアドレス設定を行います。

 設定方法は、1桁ずつ行います。

 キー：各桁間の移動
 キー：数値指定に使用します。
決定 キー：設定した値を確定します。

I P ア ド レ ス	
1 9 2 . 1 6 8 . 0 1 1 . 0 0	1
【 通 信 】	

サ ブ ネ ッ ト マ ス ク	
2 5 5 . 2 5 5 . 2 5 5 . 0 0	0
【 通 信 】	

ゲ ー ト ウ ェ イ	
1 9 2 . 1 6 8 . 0 1 1 . 0 0	1
【 通 信 】	

- 3** . **決定** キーで印刷モードを確定し、印刷待機画面に戻ります。


6-7 テスト印刷

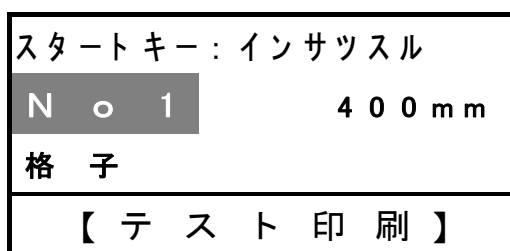
プリンタ単体で印刷テストを行うことができます。パソコンからの印刷とは異なり通信設定にかかわらず印刷することができ、不具合時の切り分けに役立ちます。

- 印刷待機画面で **MENU** キーを押し、メニューを表示させます。
↓ キーで「テスト印刷」を反転表示させ **決定** キーを押します。



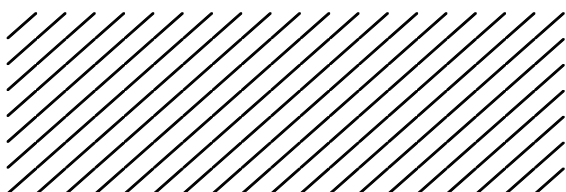
- テストパターン選択画面が表示されます。

-  テストパターンを下記 5 種類の中から **↑** **↓** キーで選択し、続いて **→** キーで印刷長さの項目に移動し、**↑** **↓** キーで入力します。



- スタート/ストップ キーでセットされた用紙に合わせて印字します。印刷終了後印刷待機画面に戻ります。

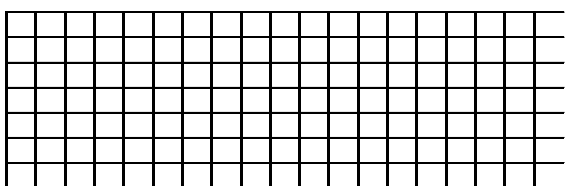
No 1 斜線



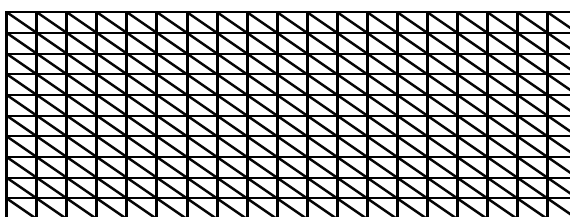
No 2 横線



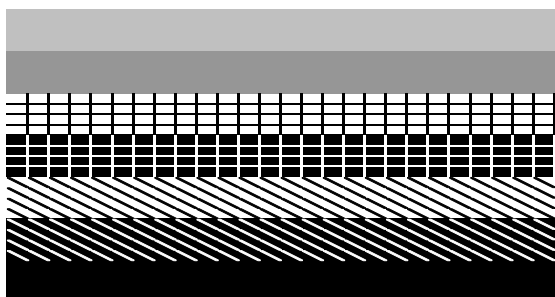
No 3 格子



No 4 斜線格子



No 5 パターン A



テスト印刷長さ

10 mm、20 mm、40 mm、80 mm、100 mm、200 mm
 400 mm、800 mm、1000 mm

第7章 エラー表示

LCDに表示されるエラーメッセージです。RP-970T でエラーがあるとインターフェース設定のLEDが赤・緑交互の点滅をして、下記のLCD表示がされます。

LCD表示	エラー内容	対応方法
カバーオープン	上カバーが開いています。	上カバーの両端を押してカチッというまで、しっかり閉めてください。印刷中に開いたのなら、閉めると自動的にカットして最初から印刷します。
用紙がありません	用紙がなくなりました。	印刷中になくなった場合、用紙をセット後、自動的に最初から印刷を始めます。
用紙サイズエラー	セットされている用紙の幅と、上カバー右端にあるセレクトレバーの数値がちがいます。	セレクトレバーの数値を用紙サイズに合わせてください。
カッタ異常	カッタが途中で止まりました。	電源をOFFし、上カバーを開けてカッタの止まっている所に紙くずがないか確認して下さい。それ以外の場合は、販売店に連絡して下さい。
ヘッド温度上昇	連続印刷や黒の多い印刷でサーマルヘッドが過熱しすぎとなり、正常な印刷ができなくなりました。	サーマルヘッドの温度が正常に戻り次第、途中から印刷を始めます。そのままお待ちください（印字のつながり目には濃淡差がでますので、ご了承ください）。
ヘッド異常	サーマルヘッドが異常過熱しています。	ヘッド周りに異常がありますので、すぐに電源をOFFして販売店に連絡して下さい。
通信データエラー	パソコンからのデータがRP-970Tの受け取れる形式にありません。	通信方式を別の方式に変えてみて正常に印刷すれば、通信ケーブルの接触不良です。プリンタドライバをインストールしなおしてください。それ以外では、印刷させるアプリケーションがRP-970Tに対応していない場合があります。
受信容量オーバー	印刷する文字の数が多すぎて処理ができません。	書家の筆SF-500のMFG L1コマンドでは約500文字で受信バッファがオーバーします。文字数を減らすか、付属のプリンタドライバで転送して下さい。
用紙幅オーバー	パソコンから送られてきたデータが、セットされている用紙の幅を超えました。	セットした用紙を大きい幅の用紙に変えます（変えたと受信を継続・印刷します）。

第7章 エラー表示

LCD表示	エラー内容	対応方法
専用紙以外	セットされた用紙がマックス専用紙ではありません。	印刷途中で停止します。一旦本機の電源を入れなおしてから、専用紙をセットしなおして下さい。
感度不一致	セットされているマックス専用紙が、設定された用紙感度値と違っています。	そのまま1枚は印刷します。次はセットされている用紙感度値で印刷します。

★ 用紙の交換やエラーを解除するために上カバーを開けて閉めると、次の最初の印刷時は自動的に先端のカットが入ります。

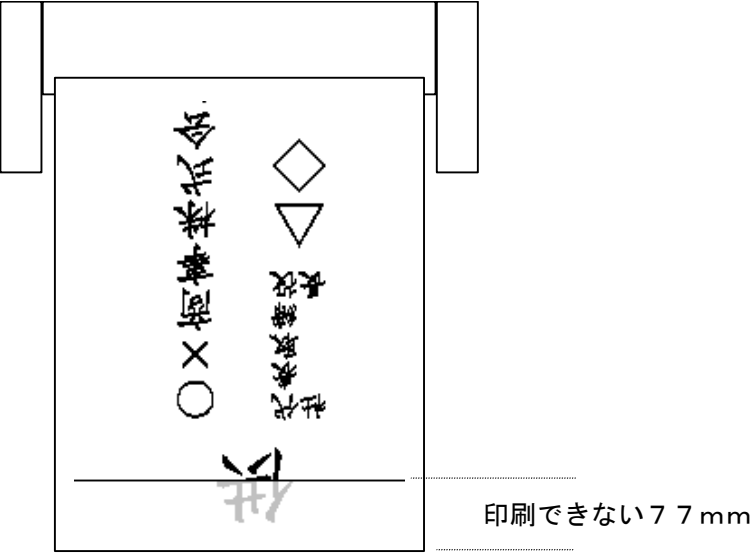
閉めた後に手動カットを入れると、この自動カットは入りません。手動で余白を作りたいときは、**カット** キーを押し手動カットを入れてから、**紙送り** キーを押し、必要分送り出してください。

第8章 故障？こんなときには

ご使用中に「故障かな？」と思われる症状が起きたら、まずこの章をチェックしてみてください。もし、この章の「解決方法」をおこなっても症状が消えないときは、お買い求めの販売店にご相談ください。

現 象	解 決 方 法
1. 電源がはいらない。	
1-1. 電源の容量不足。	RP-970T が正常に動作するにはAC100V/10Aが必要です。タコ足配線されていると容量が不足する時があります。
1-2. 電源ケーブルの異常	電源ケーブルがコンセントに根元まで入っていない、傷がついて漏電していないか確認してください。
2. パラレル通信でデータが遅れない、又はパソコンにエラー表示がでて印刷されない。	
2-1. パソコン側にドライバが正しくインストールされていない。	第2章(11ページ)のプリンタドライバのインストールをやり直して下さい。
2-2. パソコンから出力するドライバの出力ポートの選択がLPT1:になっていない。	パソコンのプリンタドライバの出力ポートをパラレル(LPT1:(ECPプリンタポート))を選んで下さい。設定方法はWindowsのマニュアルを参照ください。
3. USB通信でデータが遅れない、又はパソコンにエラー表示がでて印刷されない。	
3-1. パソコン側にドライバが正しくインストールされていない。	12ページからのプリンタドライバインストールで、USBドライバを選択して、ドライバのインストールをやり直して下さい。
3-4. 2m以上の長さのUSBケーブルを使用している。	パソコンによっては2m以上のUSBケーブルで接続すると通信波形が変形するものがあります。2m以内のケーブルを使うか、2m以上でつなぎたい場合はパソコン側にハブを入れてください。

第8章 故障?こんなときには

現 象	解 決 方 法
4. きれいな印字ができない	
4-1. セットした用紙と用紙感度設定が合っていない。	用紙の種類によって最適な熱量が違います。第4章を見て、パネル設定してください。
4-2. 寒い環境で使っていてカスレる。	専用紙を使っていますか。印刷モードを「中速」に選択してみてください。
4-3. 印刷するとシワができる。	第3章の図のように用紙を引き出すときに、平行（プラテンローラ付近でシワができていない）になるようにご注意ください。また、用紙を黒いビニールに入れないうまま、寒い環境から急に暖めると用紙に水滴がつくことがあります。水滴がついた用紙に印刷するとシワができます。
4-4. 用紙の巻きの終わり近くで用紙に四角い模様がある。	用紙の終わりギワの約3mは、用紙の巻きの段差のために模様が入ります。ご了承ください。
4-5. 印刷の排紙方向に印刷されない線が入る。	サーマルヘッドが汚れている可能性があります。別売の専用クリーナーペンを使用してサーマルヘッドをクリーニングしてください。ヘッドにキズをつける硬いものや、シンナーなどの薬品は使わないでください。
4-6. 印刷の幅方向に細い線が入る。	第7章の「ヘッド温度上昇」のエラー表示がでた時は、印刷が一時中断するために細い白線がでる場合があります。ご了承ください。
4-7. 4本のヘッドのつなぎ目に段差ができる。	RP-970T 本体の上カバーの上に物を置いたり、手を据えたりすると段差ができる時があります。
5. その他	
5-1. 本体内からファンが回ったり、止まったりする音がする。	本体内にサーマルヘッドを冷却するファンが入っています。このファンは、サーマルヘッドが温まると自動的に回転し、冷えると止まりますので異常ではありません。
5-2. 印刷途中で速度が速くなったり遅くなったりする。	寒い場所で使うときは、室温を検知して熱量を上げる為に低速で印刷します。サーマルヘッドが温まると指定した用紙感度の速度で印刷します。
5-3. 印刷の先頭が印字されない。	<p>用紙サイズに対して、先端に印刷できない余白 77mm があります。アプリケーションで文字を配置するときに、この先端 77mm にはかからないようにして下さい。</p> 

第9章 仕様

第9章 仕様

印刷方式	4本ヘッド・ラインサーマル方式
印刷解像度	203DPI (8dot/mm)
最大印刷速度	マックス専用紙 用紙感度1 25.0mm/秒 用紙感度2 20.8mm/秒 用紙感度3 17.8mm/秒
最大印刷幅	A0選択時 831mm、A1選択時 623mm、A2選択時 415mm
ロール紙仕様 (マックス専用紙)	サイズ: A0 幅850mm×100m A1 幅640mm×100m A2 幅432mm×100m 用紙の種類によっては巻メートルが短くなります。 ロール紙外径 最大110mm
用紙カット	自動カット (前端余白カット、印字終了後カット)、 手動カット (操作パネル「カット」キー押下による)
前端余白	77mm (設定により自動カットできます)
受信可能コマンド	MAX-FGLI (ベクター)・アプリケーション依存プリンタドライバ MAX-PCL (ラスタ)・付属 CD-R 内のプリンタドライバ
最長印字長さ	MAX-FGLI 10m MAX-PCL 3m
インターフェース	USB 1.1 フルスピード LAN (100BASE-TX) IEEE1284 準拠パラレルインターフェース
対応 OS	Windows 7(32bit,64bit) / Vista(32bit) / XP(32bit)
動作音	印刷時 60dB カット時 70dB
動作環境	温度 10°C~30°C/湿度 35%~75% (結露なきこと)
保存環境	温度-10°C~50°C/湿度 20%~75% (結露なきこと)
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	待機時 40W 印刷時 700W
外形寸法	1,115×540×975 mm
質量	69.5Kg (本体 42.25kg、脚部 27.25kg)



本社・営業本部	〒103-8502 中央区日本橋箱崎町 6-6	TEL(03)3669-8108
札幌支店	〒060-0041 札幌市中央区大通東 6-12-8	TEL(011)261-7141
仙台支店	〒984-0002 仙台市若林区卸町東 2-1-29	TEL(022)236-4121
東京支店	〒103-8502 中央区日本橋箱崎町 6-6	TEL(03)3669-8141
名古屋支店	〒461-0025 名古屋市東区徳川 1-11-23	TEL(052)935-8531
大阪支店	〒553-0004 大阪市福島区玉川 1-3-18	TEL(06)6444-2031
広島支店	〒733-0035 広島市西区南観音 7-11-24	TEL(082)291-6331
福岡支店	〒812-0006 福岡市博多区上牟田 1-5-1	TEL(092)411-5416

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

ホームページアドレス：<http://www.max-ltd.co.jp/op/>